

## 会 告

### 日本鉄鋼協会第74回講演大会開催ご案内

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 佐 野 幸 吉

本会はきたる10月1日(日)、2日(月)、3日(火)の3日間北海道大学教養部において、第74回講演大会を、また日本金属学会と合同で、10月4日(水)、5日(木)の両日札幌市および室蘭市付近の主要工場その他の見学会を開催いたします。

大会ご出席の方は、下記要領をご覧の上、ふるつてご参加下さるようご案内申し上げます。

記

日 程	10月1日(日)	9:00 開会式, 特別講演会(予定) 13:00 学術講演会, 討論会 18:00 懇 親 会
	10月2日(月)	9:00 学術講演会, 討論会 9:30 レディースプログラム
	10月3日(火)	9:00 学術講演会, 討論会
	10月4日(水)	8:30 札幌地区見学会
	10月5日(木)	9:30 室蘭地区見学会

会 場 学術講演会 北海道大学教養部(札幌市北17条西8丁目)  
懇 親 会 グランドホテル(札幌市北1条西4丁目)

講演プログラム 会誌第9号(8月号)に仮プログラムを掲載いたします。

講演概要集 講演前刷は「講演概要集」としてオフセット印刷のうえ、会誌「鉄と鋼」11号(臨時増刊号)に掲載、会員全員に配付いたします。

懇親会  
見学  
レディース  
プログラム

全国各地からお集りになされる会員各位には、唯一の交歓親睦の場として奮つてご参加下さい。  
今回は会員夫人ならびに家族のために「レディースプログラム」が編成されておりますので、会員各位にはご同伴のうえ、懇親会と合わせご参加下さるようご案内いたします。  
なお、詳細は会告 N93 ページをご参照下さい。

### 日本鉄鋼協会行事案内

開催月日	行事(カッコ内は開催地)	申込締切	会 告
8月 10(木)	第74回講演大会原稿締切日		第7号N77
21(月) 22(火)	第10回技術講座(東京) 「鉄鋼製錬の化学工学」	申込不要	N98
10月 1(日), 2(月), 3(火) 4(水), 5(木)	第74回講演大会(札幌) 〃 見学会	申 込 要	N93

## 昭和42年度日本鉄鋼協会・日本金属学会秋季講演大会実行委員

(敬称略五十音順)

### 顧問

阿部 与 北海道大学工学部長  
 雨宮 登三 北海道工業開発試験所長  
 大坪喜久太郎 室蘭工業大学学長  
 鍵和田暢男 (株)日本製鋼所室蘭製作所常務取締役  
 所長  
 佐藤 健二 北海鋼機(株)代表取締役社長  
 高橋 長之 豊平製鋼(株)取締役社長  
 長井 弘 北海道工業試験場長  
 林 泰 富士製鉄(株)室蘭製鉄所専務取締役  
 所長  
 原田 与作 札幌市長  
 福富 孝治 北海道大学理学部長  
 堀内 寿郎 北海道大学学長  
 町村 金五 北海道知事  
 森永 孝三 富士製鉄(株)中央研究所取締役研究所  
 長付

### 実行委員長

竹内 秀夫 日本鉄鋼協会北海道支部長

### 副実行委員長

館野 万吉 (株)日本製鋼所室蘭製作所取締役  
 副所長

丹羽貴知蔵 北海道大学理学部教授

萩原 巖 工学部教授

吉井 周雄 日本金属学会北海道支部長

### 実行委員

安孫子義雄 北海道工業開発試験所企画課長

阿部 三郎 室蘭工業大学金属工学科教授

池見 恒夫 (株)日本製鋼所室蘭製作所圧延部長

打越 貢 札幌出張所長

岡本 剛 北海道大学工学部教授

小谷 守彦 (株)日本製鋼所室蘭製作所鍛錬部長

小野寺真作 (株)日本製鋼所室蘭製作所主任研究員  
 金森 祥一 室蘭工業大学金属工学科教授  
 鎌田 林平 北海道工業試験場選鉱精錬部長  
 神居 詮正 富士製鉄(株)室蘭製鉄所製鋼部長  
 楠野 桂三 富士製鉄(株)室蘭製鉄所製鉄部長  
 工藤 重蔵 豊平製鋼(株)発寒製造所長  
 佐藤 進一 北海道大学工学部教授  
 佐藤 久男 北海道工業試験場機械金属部長  
 下地 光雄 北海道大学理学部教授  
 城本 義光 富士製鉄(株)室蘭製鉄所研究員  
 高橋 忠義 北海道大学工学部助教授  
 高宮 克弥 富士製鉄(株)室蘭製鉄所化工部長  
 竹山 太郎 北海道大学工学部教授  
 田中 時昭 〃  
 田阪 興 富士製鉄(株)室蘭製鉄所研究員  
 田島喜久雄 〃 研究所長  
 土肥 正治 〃 技術管理部長  
 中江 仁 北海道大学工学部教授  
 長岡 金吾 〃  
 中川 義隆 (株)日本製鋼所室蘭製作所主任研究員  
 中野 勇 富士製鉄(株)札幌営業所調査役  
 西田 恵三 北海道大学工学部教授  
 平本 清房 北海鋼機(株)常務取締役管理部長  
 前川 静弥 (株)日本製鋼所室蘭製作所研究所長  
 松原 嘉市 北海道大学工学部教授  
 緑川 林造 〃  
 宮原 将平 〃 理学部教授  
 宮野樺太男 (株)日本製鋼所室蘭製作所主任研究員  
 守川平四郎 〃 製鋼部長  
 師岡 保弘 室蘭工業大学金属工学科教授  
 山内 仁 富士製鉄(株)室蘭製鉄所生産管理部長  
 渡辺 勝也 北海道大学工学部教授

## 懇親会の申し込みについて

— 申込締切日 9月14日 —

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気のご催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 昭和42年10月1日(日) 18:00~19:30
2. 会 場 札幌グランドホテル(札幌市北1条西4丁目)
3. 会 費 300円(パーティー式)
4. 申込締切日 昭和42年9月14日(木) 16時着信まで
5. 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。  
ご夫人のご参加は別添「レディスプログラム、懇親会」参加申込書にてお申し込み下さい。  
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
6. 申 込 先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階  
日本鉄鋼協会 懇親会係 電話 東京(03) 279-6021(代)

## 見学会申し込みについて

— 申込締切日 8月10日(木) —

見学会に参加を希望される方は、下記要領をご覧のうえお申し込み下さい。

今回は会員夫人ならびに家族のために「レディスプログラム」を設けました。会員各位にはご家族にお勧めいただき、ご参加下さるようお願いいたします。

### 記

- |       |  |
|-------|--|
| 見 学 会 | 10月2日(月) レディスプログラム<br>10月4日(水) 札幌ならびに洞爺、登別 )<br>10月5日(木) 室蘭                              |
| 申込締切日 | 昭和42年8月10日(木) 16時着信まで  |
| 申込方法  | 別記「見学会申し込み上の注意」をご覧の上、別添申込用紙(1人1枚)に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受付けいたしません。 |
| 見 学 先 | 見学先はN 94 ページの見学班表からお選び下さい。   |
| 会 費   | (それぞれの金額にはバス代、昼食代を含む)<br>見学会 1班, 2班, 3班 1,300円<br>4班, 5班 700円<br>レディスプログラム 1,300円        |
| 申 込 先 | 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階<br>日本鉄鋼協会 見学会係<br>電話 東京(03) 279-6021(代)                           |

## 第74回講演大会における宿舎について

第74回講演大会および見学会における宿舎の予約を希望される方は、各自最寄りの日本交通公社を通じ申し込み旅館クーポン券をご手配下さい。

お申し込みの際には「全国大会参加」の旨と「日本鉄鋼協会会員」であることを申し添えて下さい。宿泊料金は1人1泊2食付(税・サービス料別)で1,500円~4,000円ですが、宿泊地および合部屋などにより多少料金の差があります。交通公社と相談のうえご手配下さい。

なお、10月上旬は観光シーズンですので、早目に予約されることをお勧めいたします。

## 昭和42年秋季大会見学班表

班	月日	参加費 (含む昼食) 円	コース (経過時刻には変更があります)	見学内容	備 考
1 (50名)	10/4	1,300	8:30出発 9:10 10:20 11:10 北大教養部前—鉄工団地—手稲オリンピック <sup>①</sup> 12:10 13:40 14:20 (昼食) (手稲, 花 <sup>パンナゴ</sup> 畔, 茨戸経由) <sup>②</sup> —雪印乳業 14:40 15:20 15:40 —サッポロビール—札幌駅前解散	○鉄工団地 豊平製鋼その他 (鋳物, メッキ) ○雪印乳業 バター, 市乳, ア イスクリーム製造 ○サッポロビール ビール製造	① 札幌オリンピック回 転競技場予定地 ② 石狩平野を眺望 登別, 室蘭方面の方は札 幌駅発16時5分急行ちと せ5号, とうや3号に接 続します.
2 (100名)	10/4	1,300	8:30出発 9:00 10:30 12:00 北大教養部前—工業技術院北海道工業—支笏 開発試験所 13:00 13:50 14:10 14:40 15:10 湖畔 <sup>①</sup> (昼食)—苫小牧工業港 <sup>②</sup> —白老 <sup>③</sup> — 15:50 登別温泉地獄谷解散 <sup>④</sup>	○工業技術院北海道 工業開発試験所 石炭化学および工 業分析	① 国立公園 ② 砂浜を掘り割つた特殊 な工業港 ③ アイヌ部落 ④ 登別温泉の湯元 温泉街まで徒歩5分, 10月5日室蘭地区見学の 方は温泉街から出るバス を利用 (約45分)
3 (100名)	10/4	1,300	8:30出発 9:10 10:10 北大教養部前—日本鋳業豊羽鋳山選鋳所 11:10 11:50 —中山峠 <sup>①</sup> (昼食)—(洞爺湖畔, 洞爺温泉街 13:20 14:00 15:10 経由 <sup>②</sup> )—昭和新山 <sup>③</sup> —硫黄鋳山経由 <sup>④</sup> —オ 15:25 15:50 ロフレ峠 <sup>⑤</sup> —登別温泉地獄谷解散 <sup>⑥</sup>	○日本鋳業豊羽鋳山 選鋳所 鉛, 亜鉛硫化鋳の 浮選	① 国立公園 蝦夷富士の眺望雄大 ② 国立公園 ③ 国立公園 昭和18年にできた活火 山 ④ 北海道硫黄壮瞥鋳業所 ⑤ 眺望雄大 ⑥ 2班 <sup>④</sup> と同じ このコースはほとんど国立 公園になつている。 洞爺湖温泉に宿泊され, 室 蘭地区見学に参加の方は, 温泉街から出るバスを利用 (約1時間10分)
4 (100名)	10/5	700	9:30出発 9:50 12:00 12:15 13:00 東室蘭駅—日本製鋼所—測量山 <sup>①</sup> (昼食)— 13:20 15:30 15:40 富士製鉄—東室蘭駅解散	○日本製鋼所 鍛錬工場 圧延工場 機械工場 製鋼工場ほか	① 測量山 室蘭市内, 噴火湾の眺 望が良い。 東室蘭駅発16時8分上り特 急おとりに接続します。 御希望の方には室蘭駅まで バスで送ります。
5 (150名)	10/5	700	9:40出発 9:50 12:00 12:20 13:05 東室蘭駅—富士製鉄—測量山 <sup>①</sup> (昼食)— 13:20 15:30 15:50 日本製鋼所—東室蘭駅解散	○富士製鉄 製鉄工場 圧延工場 コークス工場ほか	
レ デ プ ロ グ ラ ム (50名)	10/2	1,300	9:30出発 9:50 10:10 11:10 11:40 北大教養部前—月寒羊ヶ丘 <sup>①</sup> —ミンク飼育 場 <sup>②</sup> 12:00 13:00 13:40 苫小牧パイロットファーム <sup>③</sup> (昼食)—千オフ 14:10 15:20 15:50 16:00 化場 <sup>④</sup> —サッポロビール—札幌駅前解散	○サッポロビール ビール製造	① 羊の放牧 ② ミンクの飼育 ③ 若鶏の飼育を大自然の 中で行なつている。 ④ 鮭のフ化, 養殖

- (注) 1. 各班とも工場内での写真撮影については, 工場側の指示に従つて下さい。  
2. 見学者は学会用意のリボンを必ずつけて下さい。(会場にて配付)  
3. 見学定員は両学会の合計といたします。  
4. 各班の出発時間は次の通りです。お間違いなくご集合下さい  
1, 2, 3 班 9:30 北大教養部前  
4 班 9:30 } 東室蘭駅前  
5 班 9:40 }  
レディスプログラム 9:30 北大教養部前

## 第74回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 8月10日(木) 16時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお申込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 見学会係

会員資格	名誉	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。		
ふりがな氏名 .....							
勤務先および職名 .....							
勤務先所在地 .....							
領収書送付先 .....							
通信先(勤務先と違う場合) .....							
見学希望	班別	希望順位	会費(円)		班別	希望順位	会費(円)
	1		1,300		2・5		2,000
	2		1,300		3・4		2,000
	3		1,300		3・5		2,000
	1・4		2,000		4		700
	1・5		2,000		5		700
	2・4		2,000				
送金額	¥						

.....切.....取.....線.....

## 第74回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 9月14日(木) 16時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお申込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 懇親会係

会員資格	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。		
ふりがな氏名 .....						
勤務先および職名 .....						
勤務先所在地 .....						
領収書送付先 .....						
通信先(勤務先と違う場合) .....						
出	欠	送	金	額	¥	300

切

取

線

### 見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。レadiesプログラムは会員の夫人ならびに家族を対象といたします。
2. 申し込み締切りは**8月10日(木)16時**着信までとします。
3. 申し込みは1人1班を原則としますが、1, 2, 3班中から4, 5班のいずれかに重複見学されることは差しつかえありません。  
申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第3希望まで順位をご記入下さい。  
なお、申し込みの際、第1希望金額をご送金願います。
4. 見学班決定後の見学会費の精算は大会中に見学班受付で行ないます。
5. 見学班が定員に満たぬ場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
6. 見学会が中止となつた場合は、大会終了後2週間以内に会費を返金いたします。  
ただし、お申し込みの取消しは**8月20日16時**着信までとし、以後は取消しの申し出があつても返金いたしません。
7. 各班とも工場内での写真撮影については、工場側の指示に従つて下さい。
8. 見学会参加者は大会中に見学班受付でお渡しするリボンを必ず着用して下さい。
9. 見学会における宿舎(登別、洞爺、室蘭地区)の斡旋はいたしませんので、別記ご参照のうえ各自お申し込み下さい。
10. 1, 2, 3班から4, 5班を引き続き見学される方には、連絡を明示したパンフレットを見学班受付に準備いたします。

.....切.....取.....線.....

### 第74回講演大会「レadiesプログラム・懇親会」参加申込書

**申込締切り日** 8月10日(木)16時着信まで  
**申込方法** 申込書添付のうえ現金書留にてお申し込み下さい。  
**送付先** 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館3階  
 日本鉄鋼協会 見学会係

ふりがな	氏名 .....		
会員氏名	..... 会員との続柄 .....		
会員勤務先	.....		
通信先	.....		
懇親会	10月1日(日)	出欠	¥ 300円
レadiesプログラム	10月2日(月)	出欠	¥ 1,300円
送金額			¥ 円

.....切.....取.....線.....

## 第10回技術講座開催のお知らせ

— 8月21日・22日 —

本会では会員各位をはじめ関係各位のご要望により、鉄鋼の製造、研究に従事する人々が常識として把握しなくてはならないテーマをとりあげ、それぞれの権威者から最近の動向、発展の方向についてお話し願ひ、討論を行なうために技術講座を開催してまいりました。

第10回技術講座は「鉄鋼製錬の化学工学」をテーマにとりあげ、下記演題をもとに講師にご講演をお願いすることになりました。多数会員ご参加下さるようご案内いたします。(聴講無料)

記

1. 日 時 昭和42年8月21日(月), 22日(火) 9:30~17:00
2. 場 所 大和証券ホール 東京都中央区八重洲1-2-4  
(国鉄東京駅八重洲北口下車徒歩5分) 呉服橋交差点角  
(地下鉄=日本橋, 都電=呉服橋下車)
3. プログラム 一鉄鋼製錬の化学工学—  
第1日 (8月21日 9:30~17:00)  
9:30 化学工学入門 東京大学 国井大蔵君  
13:00 化学工学の鉄鋼製錬への導入 八幡製鉄(株)東京研究所 瀬川清君  
第2日 (8月22日 9:30~17:00)  
9:30 化学工学の鉄鋼製錬への導入(続) 八幡製鉄(株)東京研究所 瀬川清君  
13:00 鉄鋼製錬プロセスの理論的解析 名古屋大学 鞭巖君
4. テキスト代 1,000円(予定)

なお、第9回技術講座「鋼の熱間加工の基礎」のテキストの正誤表を作成いたしましたので、ご入用の方はお申し出下さい。

## 九州支部学術講演会講演募集

本会九州支部は日本金属学会九州支部と共催で下記により第18回九州支部講演会を開催いたしますので奮ってご参加下さい。

- 日 時 昭和42年10月25日(水) 9:00~
- 会 場 九州大学工学部 鉄鋼冶金講義室  
(福岡市箱崎町 西鉄電車九大前下車, 九大中門下車)
- 申込締切 昭和42年8月20日
- 講演時間 25分間, 他に質疑応答5分間
- 申込要領 適宜用紙に題目, 講演者氏名, 幻燈使用の有無, 勤務先, 職名, 連絡先明記のうえ講演概要(2000字まで)を添え申し込んで下さい。但し概要に限り9月15日までに送付のこと。
- 申 込 先 福岡県北九州市八幡区枝光町1-1  
八幡製鉄(株)八幡製鉄所技術研究所内  
日本鉄鋼協会九州支部事務局 Tel 八幡(67)0311 内 258

## 会費納入についてのお願い

会費は毎年12月に1年分を前納するか、または毎年12月および6月の2回に分けて、おのおの6カ月分を前納していただくことになっております。

未納の方は下記によりお払込み下さいますようお願いいたします。

記

- 正会員年会費 2,400円, 学生会員年会費 1,500円
- 宛 先 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館3階  
社団法人 日本鉄鋼協会  
郵便振替口座 東京 193 番

## 会員名簿についてのお知らせ

本会では、昭和42・43年度版会員名簿を本年11月上旬に発行すべく現在編集作業を進めております。会員相互の便宜のためにも記載事項はできるかぎり正確を期したいと思いますので、先にお配りいたしました会員名簿調査カードによる回答をまだお寄せになつていない方は必要事項をご記入の上至急本会宛お送り下さい。会員名簿購入希望の方は下記ご参照の上お申し込み下さい。

### 記

発行予定日 昭和42年11月1日  
 体裁 B5判(活版印刷)  
 価格 会員 300円, 非会員 600円(送料本会負担)  
 送金方法 現金書留にて 1) 送金目的 2) 申込部数 3) 名簿送付先住所を明記の上お送り下さい。  
 (代金は随時お払い込み下さい。領収書は折り返し送付, 名簿は発行後直ちにお送り致します)  
 送金先 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館3階  
 (社)日本鉄鋼協会 編集課 電話東京(03)-279-6021

## “鉄鋼規格便覧”刊行のお知らせ

本会は、鉄鋼メーカーのみならず広くユーザーの要望により、主要各国の国家規格ならびに団体規格の抄訳を進めてまいりましたが、7月上旬“鉄鋼規格便覧”(鉄鋼技術講座 第6巻地人書館刊)として刊行の運びとなりました。本書は、主要規格の鋼材の化学成分、機械的性質、試験検査、形状、寸法、重量等を表を中心にまとめてあります。購読を希望の方は下記をご覧のうえお申し込み下さい。

### 記

1. 書名 鉄鋼規格便覧  
 2. 内容
- |  |   |
|--|---|
| 第1章 鉄鋼材料の分類<br>鉄鉄およびフェロアロイの分類, 鋼の分類<br>鋼材の分類   | 鋼材および機械構造用炭素鋼鋼材, ステンレス鋼および耐熱鋼, 工具鋼, 特殊用途鋼<br>鑄鍛鋼  |
| 第2章 外国規格の概要<br>アメリカ (ASTM 他 12 規格) イギリス (BS), ドイツ (DIN, VDEh) ソ連 (ГОСТ), その他欧州 (8 規格), インド (IS, IRSS), 中南米およびカナダ (9 規格), ISO | 第4章 国内団体規格<br>日本溶接規格, 日本高圧力技術研究会規格・基準, 日本海事協会鋼船規則, 石油学会規格, 日本電機工業会規格, 自動車工業会協定規格, 日本国有鉄道規格, 防衛庁規格 |
| 第3章 日本工業規格<br>概説, 鉄鉄およびフェロアロイ, 棒鋼および形鋼, 鋼板および鋼帯, 表面処理鋼板, 鋼管, 線材および二次成品, 構造用合金鋼   | 第5章 外国規格<br>ISO, ASTM, SAE, AISI, ASME, AMS, API, BS, DIN, VDEh, ГОСТ, 船級協会規格                     |
3. 定価 6500円(送料 150円)  
 4. 申込方法 書名および送付先を明記のうえ, 現金書留または振替にて直接下記にお申し込み下さい。  
 5. 申込先 東京都新宿区牛込中町15  
 私書函東京牛込局 56号, 地人書館  
 振替東京 1532番・電話(260) 7161~3



## 「鉄鋼材料便覧」刊行のお知らせ

本会では、前月号の会告でお知らせしましたように、日本金属学会との共同編集になる「鉄鋼材料便覧」を6月下旬に丸善株式会社より刊行の運びとなりました。本書は、鉄鋼材料の使用者ばかりでなく、鉄鋼メーカーの技術者の方々にもきわめて役に立つ内容になっています。また下記のように会員特価の特典もございますので会員諸氏のご購読をぜひおすすめいたします。

### 記

1. 書名 鉄鋼材料便覧
2. 編集 日本鉄鋼協会，日本金属学会
3. 規模 A5判 1630ページ
4. 内容 (下記参照)
5. 定価および購入方法 定価 5,800円，会員特価 5,300円

各会員宛に5月下旬に郵送いたします内容見本に「鉄鋼材料便覧会員特価購入券」が同封してあります。この特価購入券を本書をお買い求めの際(代金お支払いの時)書店にお渡し下さい。会員特価 5,300円 でご購入になれます。特価購入の期限は9月30日までです。

### 内 容

#### 第1編 総 論

1. 鉄鋼材料の基礎 2. 温度による諸性質の変化 3. 熱処理による性質の変化 4. 表面処理による性質の変化
5. 腐食および防食 6. 表面処理 7. 溶接および溶接部の性質 8. 塑性加工および塑性加工による性質の変化
9. 粉末冶金と焼結材の性質 10. 機械的性質とその物理的意義 11. 材料の表面および内部の欠陥

#### 第2編 鉄鋼材料

12. リムド鋼とキルド鋼 13. 構造用炭素鋼 14. 構造用低合金高張力鋼 15. 構造用合金鋼
16. ステンレス鋼およびステンレス合金 17. 耐熱鋼および超耐熱合金 18. 軸受鋼 19. ばね鋼
20. 工具鋼 21. 電磁気材料 22. 鋳鉄 23. 鋳鋼 24. 粉末冶金製品

#### 第3編 鉄鋼材料の用途別選択と加工処理法

25. 一般構造用材料 26. 構造物用主要材料 27. 一般機械要素材料 28. 機械主要部品用材料
29. 治工具材料 30. 電磁機器部品用材料 31. 化学装置および部品用材料 32. 原子炉構造用材料
33. 航空機用材料 24. 航空機用材料

## 学 協 会 記 事

### 計算制御のための計測講習会案内

共 催 計測自動制御学会関西支部  
 協 賛 日本鉄鋼協会関西支部ほか9学協会  
 日 時 昭和42年9月12日(火)，13日(水) 10:00~17:00  
 会 場 日刊工業新聞社大阪支社 5階ホール  
 大阪市東区高橋前之町2 Tel. (06) 941-6571

#### プログラム

第1日 計算制御の現状と将来 東大工 寺尾 満ほか4件  
 第2日 測定値の処理と信頼度 計量研 森村正直ほか4件

定員聴講料 100名，一般3500円，会員3000円，学生会員2500円

申 込 先 計測自動制御学会関西支部 大阪市北区堂島北町 大東ビル  
 日本電気計測器工業会関西支部内 Tel. (06) 361-7591

申 込 方 法 申込書に聴講料を添えて，8月31日までに申し込んで下さい。

## 第11回材料研究連合講演会プログラム

- 共 催 日本鉄鋼協会ほか  
 幹事学会 土木学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本材料学会  
 日 時 昭和42年9月8日(金), 9日(土) 9:30~  
 場 所 日本化学会講堂・会議室, 明治大学大学院南講堂  
 第1会場: 日本化学会講堂, 第2会場: 日本化学会会議室,  
 第3会場および特別講演: 明治大学大学院南講堂  
 講 演 特別講演 (9月8日 13:00~14:00)  
 「Photoelasticity, an Expanding Field」 C. E. Taylor
- 9月8日— 第1会場  
 (101) 無電解ニッケルの構造について, ほか 14 件  
 第2会場  
 (201) 硬質塩ビ板のシャルピー衝撃値におよぼす試験片長さおよび支点間距離の影響  
 (208) 軟鋼の低温における引張諸性質のひずみ速度依存性  
 東工大 中村正久, 作井誠太, 松田明教  
 ほか 12 件  
 第3会場  
 (301) 太陽炉による  $ZrO_2$ -SrO 系液相線の測定, ほか 14 件
- 9月9日— 第1会場  
 (116) プラスチックの疲労中の力学的挙動の追跡, ほか 18 件  
 第2会場  
 (215) 押し込みかたさとパウシニング効果  
 (219) 17Cr-10Ni-1.5Mo-Cu-Nb-V 系鋼の高温強度  
 日立研 佐々木良一, 幡谷文男  
 ほか 15 件  
 第3会場  
 (316) 鑄鉄の化学組成と機械試験値の因子分解  
 (327) 厚鋼板の曲げ成形限度と加工条件の関係  
 鋼管技研 両角不二雄, 松下久雄  
 ほか 15 件
- 懇 親 会 昭和42年9月8日(金) 17:30~19:00 日本化学会会議室  
 会費 500 円  
 講演前刷 頒価 700円 オフセット印刷 192 頁  
 申込方法 懇親会参加および前刷ご希望の方は, 上記代金を添えてお申し込み下さい。  
 申 込 先 東京都千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会 Tel (292) 6161

## 第18回塑性加工連合講演会講演募集

- 共 催 日本鉄鋼協会ほか 8 学協会  
 幹 事 日本機械学会  
 日 時 昭和42年11月17日(金), 18日(土)  
 会 場 日本都市センター本館および別館講堂  
 申込締切 昭和42年8月21日(月)  
 申込要領 はがきに「第18回塑性加工連合講演会講演申込」と題記のうえ題目, 50字以内の概要, 所要時間(20分以内), スライドの有無, 氏名, 所属学協会および会員資格, 勤務先, 通信先を明記のうえお申し込み下さい。  
 申 込 先 日本機械学会 東京都港区赤坂4丁目1第24号 日本規格協会ビル  
 原稿提出 昭和42年8月30日(土)